

2025 年度 第 1 回 ピットフォール研究専門委員会議事録

日 時：2025 年 4 月 25 日(金)19:30～21:00

場 所：Zoom による Web 会議

出席者（敬称略）： 中野恵一（北海道大学病院）、阿部雅仁（栄研化学株式会社）、上田一仁（関西医療大学）、川崎健治（千葉大学医学部附属病院）、脇 雅宏（ニッソーホームメディカル株式会社）、小島和茂（日本電子株式会社）、長田 誠（国際医療福祉大学）、中沢隆史（日立ハイテク）、三好雅士（徳島大学病院）、細羽恵美子（東京女子医科大学病院）、清宮正徳（国際医療福祉大学）、濱田悦子（文京学院大学）

欠席者（敬称略）：菅野光俊（福島県立医科大学）、土筆智晶（北里大学病院）、石嶺南生（信州大学医学部附属病院）

【報告事項】

1. 委員の退任と名簿更新について（三好）

阿部正樹委員（東京慈恵会医科大学附属第三病院）、藤田清貴オブザーバー（群馬パース大学）が昨年度末を以て委員退任された。また、濱田悦子委員（文京学院大学）は退任後、オブザーバーとなることについて委員一致で承認された。

その他委員については所属など変更なく、委員名簿を更新し HP へ掲載する。

2. 事例集の追加について（三好）

ご送付いただいた内容を反映し、2024 年 5 月に事例集を更新、HP へ掲載する。

3. APFCB 報告（中野）

2024 年 11 月に開催された APFCB シンポジウムについて報告。

座長：清宮委員、演者：中野副委員長、石嶺委員、大川先生

反応タイムコースについて、日本の現状を含め講演を行った。約 90 名の参加で質疑も多く盛会に終了した。海外ではタイムコースを見れない機器も多いとの報告であった。

4. 2024 年度近畿支部医学検査学会報告（上田・三好）

日時：2024 年 11 月 4 日（月・祝）に開催され、コラボ企画シンポジウムとして上田委員・阿部委員・三好が講演した。満員御礼、盛会に終了した。

5. 妙高セミナー講演（中野）

2025 年 7 月に開催される妙高セミナー（松本市）において、中野副委員長へピットフォール委員会の活動と相談事例についての発表依頼があった。

6. 抗血清の購入について（三好）

2024 年度予算にて抗 IgG・抗 IgA・抗 IgM 各 1 mL×2 本を購入した。

7. 会計報告（三好）

2024 年度会計報告について、資料に基づき報告があった。なお、会計監査として、写真と通帳残高により、適切に使用されていることと残金が確実にされていることを委員長が確認した。

8. 学会 HP トップページのピットフォール研究専門委員会インデックスについて（三好）

インデックスの名称について、委員会で検討した案である、

「1 段目：ピットフォールサポート、2 段目：ピットフォール相談窓口」と併記・更新された。

9. 委員会からの挑戦状（ニュースレター）について（三好）

現在 1 症例目第 2 号まで発行、第 3 号作成中→5 月中には発行予定。

2 症例目については次のグループに企画を依頼し、6 月～7 月頃に初回発行予定。

10. ピットフォール解析マニュアルの論文化（別冊発行）について（三好）

三井田理事長より起案。ピットフォール解析マニュアルを学会誌の別冊として発刊する。

理事会・編集委員会承認済。著作権は学会に移行し、参考、引用文献として利用可能に。

各執筆者には内容の加筆修正がないか 5 月 15 日締切で再確認を依頼したい。また、他誌に掲載している論文の図表等を引用している場合には、著作権の関係上、引用許諾を得ることが望ましい。執筆者が合わせて確認することとなった。

巻頭言、執筆者一覧を追加し、1.1 版 or 第 2 版として掲載予定である。

・清宮委員より、オンライン掲載についてのメリットと英文化についてコメントがあり、前向きに検討することとなった。

11. その他

【協議事項】

1. 第 65 回年次学術集会シンポジウムについて

担当者：石嶺委員・中沢委員

11 月 7 日（金）～11 月 9 日（日）のいずれかで開催@ウインクあいち 日時未定・2 時間枠

企画内容：石嶺委員・中沢委員・中野副委員長・三好委員長で企画案を検討する。

事例案：メサラジンによるトリンダー試薬への影響

本シンポジウムは対面で実施するため、日臨技・精度管理認定の単位認定講習会として申請されたい旨、濱田オブザーバーよりコメントがあった。

2. 新規委員の追加について（三好）

・再周知

→ 委員希望者からの自薦、立候補などを受けた場合、現委員の推薦と理由書を以て、委員会で審議を行う。

委員会活動の拡大や学会からの要望などで委員の追加が必要な場合、委員会で審議を行い、委員候補者を選出する。選出した委員候補者に対し、現委員から打診を行う。

現委員退任（交代時）は退任委員からの推薦を以て、委員会で審議を行う。

退任委員からの推薦はなく、新規委員については委員会へ一任された。

1 件、施設長から他薦はあったが、一旦お断りしている。

3. その他

2027 年度臨床化学会年次集会@大阪（大会長：上田先生）

本委員会としては、例年通りの活動報告に加え、シンポジウムなどを行い盛り上げたい。

次回委員会：年次学術集会前に WEB にて開催予定。

以上